

▶ 綺麗になった海岸で相撲大会



▶ タバコの吸殻がこんなにたくさん



▶ 何でこんなものまで!?



▶ アルコールの缶にタバコの空き箱 大人の嗜好品…



クリーンな海岸に

10月23日、大根占小学校の5、6年生が「海岸クリーンアップ作戦」を実施しました。これは、海岸のゴミ拾いを行うだけでなく、鹿児島大学が研究しているゴミと海流の関係のサンプル採集も兼ねていて、児童たちは海岸で拾ったゴミを分別しながら全ての数量を数えました。

児童たちは、作業をしながら、そのゴミの量に驚いていました。それもそのはず、捨てられているゴミの中には子供たちが捨てる可能性は皆無に等しいタバコの吸殻(1,032本)などが大部分を占めていました。

ゴミは漂着したものかもしれません。しかし、明らかに錦江町の海岸に捨てられたゴミもあります。子どもたちへ美しい海を残すためにも今一度考えなければならないのではないのでしょうか。

綺麗になった海岸で相撲やビーチフラッグをしている子供たちはとても楽しそうでした。この笑顔を守るためにも綺麗な海岸を。

上部地区綱引き



恒例の上部地区十五夜祭りが10月21日(日)午後6時30分から表木グラウンドで開催されました。

この行事は、地区民総出で行う伝統行事で、今年は約100人の参加がありました。

当日は、早朝からグラウンドの清掃作業、綱練りを行い、夜は相撲大会、綱引き、演芸大会、抽選会等で大いに盛り上がりました。

約3時間かけて練りあげた綱での綱引きは大人も子供も無我夢中で引き合い、心地よい汗をながすことができました。また、演芸大会の部では、近所に住む中国人の皆さんの飛び入り参加もあり、カラオケやモノマネなど、会場は終始笑い拍手につつまれていました。

教育奨励賞



神川小学校が、「創造性に富んだ特色ある教育を実践し、優れた成果をあげた学校に贈られる「教育奨励賞」努力賞を受賞しました。

この賞は、各都道府県教育委員会の推薦に基づき、全国で30校が受賞したもので、神川小学校は「地域の人々とつくるふるさと教育」というテーマで、高齢者とのふれあいなど地域人材を生かした活動や郷土芸能「銭太鼓」の伝承、神川海岸や大滝、神ノ川を活用した教育活動などが受賞理由でした。

金メダル目指して



永田歩弓さん(大根占中3年)は、10月26日~28日まで、神奈川県横浜市の日産スタジアムで開催される第38回ジュニアオリンピック陸上競技大会に参加します。参加種目は、200mと400mリレーで、リレーでは第一走者を務めます。

鹿児島県内からは、約40名、肝属地区からは唯一の出場選手となります。

永田さんは「200mでは自己ベストを目指したい」という抱負を述べてくれました。

自己ベストは26秒50、中学生生活最後の大会、健闘を期待しています。